

小山市立博物館

博物館だより

2013
3.15

56

小山市立博物館開館30周年記念 第61回企画展

小山中生まれた アイヌコタンの医師 高橋房次

平成25年 4月13日(土)～6月16日(日)

たかはしふさじ
「高橋房次」を知っていますか？
彼は小山中生まれ、
医師となって北海道に渡り、
白老のアイヌコタンに建つ病院で
生涯一医師として暮らしました。
町の人からは親しみをこめて
「院長さん」と呼ばれ、
アイヌの人々ばかりでなく町の人々からも
深く信頼され愛され続けた彼は、
その死後 50 数年経った今も
白老の人々の記憶の中に生き続けています。



記念講演会

1. 「高橋房次に学ぶアイヌの人権問題」

4月20日(土)午後1:30～

講師 宇都宮大学生涯学習教育研究センター
教授 廣瀬 隆人氏

2. 「医師 高橋房次の生涯」

6月2日(日)午後1:30～

講師 北海道文化財保護協会
理事 山本 融定氏

関連講座

「アイヌ伝統楽器ムックリ体験講座」5/6(月・祝)

「アイヌ語入門講座」5/19(日)

「アイヌ伝統刺繍体験講座」6/8(土)



写真
掛川源一郎氏

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 月曜日(祝祭日は除く)、毎月第4金曜日、
4月30日(火)

入館料 大人200円(100)・高大生100円(50)・
中学生以下無料 ※()内団体料金

お問い合わせ **0285-45-5331**

小山市立車屋美術館関連展示
「北海道を描く」同時開催

*会期中、車屋美術館
との2館共通観覧券ご
利用の場合、割引料金
で観覧できます。

再発見！ 渡良瀬遊水地

～豊かな自然と人とのかかわり～

平成25年7月20日(土)～9月1日(日)

2012年7月3日、我が小山市を含めた4県4市2町（栃木県小山市、栃木県栃木市、栃木県野木町、群馬県板倉町、埼玉県加須市、茨城県古河市）にまたがる『渡良瀬遊水地』がラムサール条約湿地に登録されました。今回の展示会は、その登録1周年を記念して開催します。

『渡良瀬遊水地』は南北に約9km、東西に約6km、周囲の長さが約30kmの堤防や台地に囲まれており、その広さは約3,300haにも及ぶ本州最大の遊水地です。また、思川、渡良瀬川、巴波川の3つの川が流れ込むこの遊水地最大の特徴は緑豊かなヨシ原であり、数多くの貴重な動植物も確認されています。

今回の展示では、『渡良瀬遊水地』の歴史や自然、そこに暮らす動植物などについて紹介することを通して、我が小山市が世界に誇る『渡良瀬遊水地』についてより深く知っていただくとともに、ラムサール条約の目的にもある湿地の保全と適正な利用について考える1つの機会としていただきます。



【関連講座】『渡良瀬遊水地自然観察会』

- I 植物編：平成25年5月18日(土)〈予備日〉5月19日(日)
 - II 昆虫編：平成25年6月1日(土)〈予備日〉6月2日(日)
 - III 魚類編：平成25年6月15日(土)〈予備日〉6月16日(日)
 - IV 野鳥編：平成25年7月6日(土)〈予備日〉7月7日(日)
- ※実施時間は9:30～11:30、魚類編のみ9:30～12:00

【記念講演会】『渡良瀬遊水地の自然』

平成25年8月18日(日) 13:30～15:00

詳しくは、広報おやま4/1号
または4/1以降の博物館HPで
ご確認ください！！

コラム 博物館職員雑記帳

開館30年に思う

時の流れは早いもので、昭和58年3月13日に小山市立博物館が開館して30年が経過しました。当時建設準備に当たっていた職員は皆、若くてパイタリティーに溢れており、県内で初めての市立博物館建設に燃えていたものです。「開館に当たってどのような展示を通して来館者の皆さんに郷土の歴史や文化を伝えようか」、「来館していただくにはどのような講座や体験学習を行えば良いか」、連日遅くまで議論を重ねたものでした。その結果、当館で行った事業の多くは、当時としてはかなりユニークなもので、他の博物館からも注目される存在となったものでした。

その代表的な事業の一つが、「資料を必要とする人々の傍まで移動して提供してはどうだろうか」との意見から、学校へ資料を運んで学習に利用していただく、「出前事業」でした。その後生涯学習の中で“学社融合”の考え方が広がっていくことになりましたが、まさにその先駆けとなった当館の目玉事業でした。「座して来館者を待つより、出前する博物館」をモットーに、今後も来館者の皆さんの要望に耳を傾けながら、行動的な活動を行って行きたいものだと思っています。

かつて若手だった学芸員：小川 聖

市内27校で実施、1384名が参加しました。

出前授業「郷土学習」



1月から2月にかけて、小学校3年生を対象に「郷土学習」を実施しています。昔の道具の見学や体験活動を通して、電気やガス、水道がなかった時代のくらしの様子や、人々の生活の知恵や工夫について学習することを目的としています。

まず始めに自由見学の時間をとりますが、このときに道具の使い方についての質問は受け付けません。決して意地悪をしているわけではなく、児童の皆さんには「何に使う道具なのか」「どんな使い方をするのか」を道具の名前や形、作られている材料から予

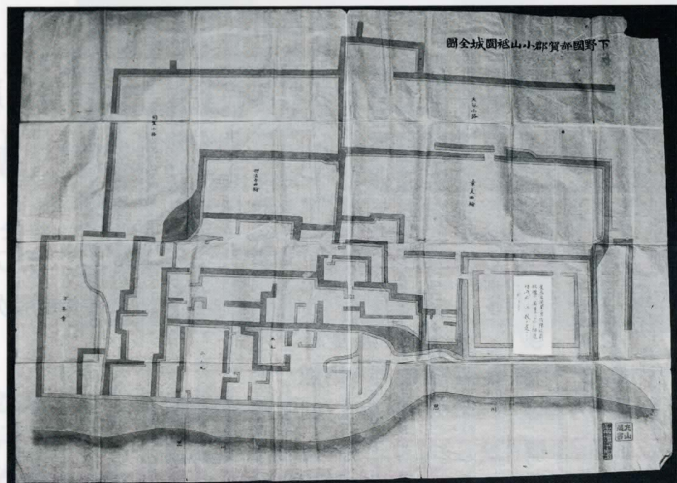
想してもらっています。その後の解説を聞きながらそれぞれに自分の疑問に対する答え合わせをしていくのですが、そうすることで、昔の人の知恵や工夫についてより深く理解できるようにしています。

解説の後には、大豆を実際に「石臼」でひいて「きな粉」にする体験をしてもらっています。こちらで使用する大豆はJA小山さんからご協力いただいています。挽き立てのきな粉の香ばしい香りでいっぱいになると、子どもたちも「すごい」「なめたい」と大喜びです。昔の人の知恵や工夫について、体で実感しながら学んでもらっています。

収蔵資料紹介

下野国都賀郡小山祇園城全図

これは平成21年に寄贈された、「下野国都賀郡小山祇園城全図」と題される絵図です。祇園城、小山城絵図は十数点確認されていますが、本資料も全体の構図などは、これらの絵図と大きく違うものではありません。方位は省略されていますが、西を下に描く構図や、堀の描き方が市内の個人宅に伝来した小山城絵図と酷似しており、この系統の絵図からの写しである可能性が高いと思われます。



文字の書込みは他の小山城図と比べても非常に簡略で、「本丸」「二ノ丸」「万年寺」他、数カ所の曲輪名が記されています。他の絵図と違う点としては、絵図中央北寄りにある「興法寺曲輪」は、他の絵図ではいずれも「本興法寺曲輪」「もと興法寺くるは」と記されていること。その南側の「章夫曲輪」は他の絵図の「シヤウ曲輪」や「しやうぶくるは」に当たると考えられますが、「章夫」という漢字が当てられていること。また、他の絵図で「シヤウ曲輪」などは本丸の真北側に描かれており、本資料の「章夫曲輪」とは位置が違うことなどが挙げられます。

なお右下に入れられた「丸山蔵書」印は足利の郷土史家、丸山瓦全のものではないかのご指摘もあり、今後の調査の手がかりとなる情報だと考えています。 (小池篤・小池玲子・小池杉夫氏 寄贈)

季節の一枚 「ジョウビタキ」

冬鳥として、中国やサハリンの繁殖地から日本に渡ってくるジョウビタキは、住宅地や畑などでも、よく見かけるかわいい鳥です。春の野菜栽培の準備が始まり、耕作している畑には、ハクセキレイやモズなどと共に、土の中から昆虫やミミズが飛び出してこないかと集まってきます。オスは結構気が強いようで、人間が近くにいてもそれほど怖がりません。いつも単独行動で縄張りを持っています。



毎月第2土曜日 生井公民館で実施中!

平成25年度 前期観望会の見どころ

毎月第2土曜日に定例観望会を開催しています。昼間は博物館駐車場において太陽の観測を行い、夜は生井公民館において季節ごとに見られる星座などの紹介をしながら星の観測を行います。

前期の観望会においては、環があることで有名な土星の観測を中心に観測を行いたいと考えています。ここしばらくはおとめ座の1等星スピカと並んで春の見物となっていた土星ですが、今年からは東隣りにあるてんびん座の方にその位置が移ってきます。そのため春よりも初夏から夏にかけての見物となります。また、環も大きく開いてきているため、望遠鏡で見るとその姿はますます神秘的で美しいものになります。夏休み頃の天体観望会では『看板スター』として人気を集めることになるでしょう。

博物館の観望会への参加はもちろん、天気がよければご家庭でも夜空を眺めてみてはいかがでしょうか。



平成25年度展示会の予定

- ・ 4/13 ~ 6/16 小山中で生まれたアイヌコタンの医師高橋房次
- ・ 7/20 ~ 9/1 再発見! 渡良瀬遊水地
- ・ 10/5 ~ 12/8 宇宙と人の物語
- ・ H26 1/18 ~ 2/23 探検! ちょっと昔のくらしとおもちゃ

寄贈者芳名

次の方から貴重な資料をご寄贈いただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

■ 岡村 正雄 (小山市) タワラシメ

平成25年度 博物館友の会会員募集中!!

	発行年月日	平成 25 年 3 月 15 日
	発行	小山市立博物館 〒329-0214 栃木県小山市乙女 1-31-7 (JR 宇都宮線間々田駅西口下車徒歩 10 分)
	電話	(0285)45-5331 FAX (0285)45-5247
	H P	http://www.city.oyama.tochigi.jp/kyoikuiinkai/hakubutukan/
	印刷	有限会社 印刷親友社